



日本テクノ・ラボ（株）
(札幌アンビシャス：3849)

**2022年3月期
決算補足説明資料**



May 16,2022

<https://www.ntl.co.jp/>



2022年3月期決算概要



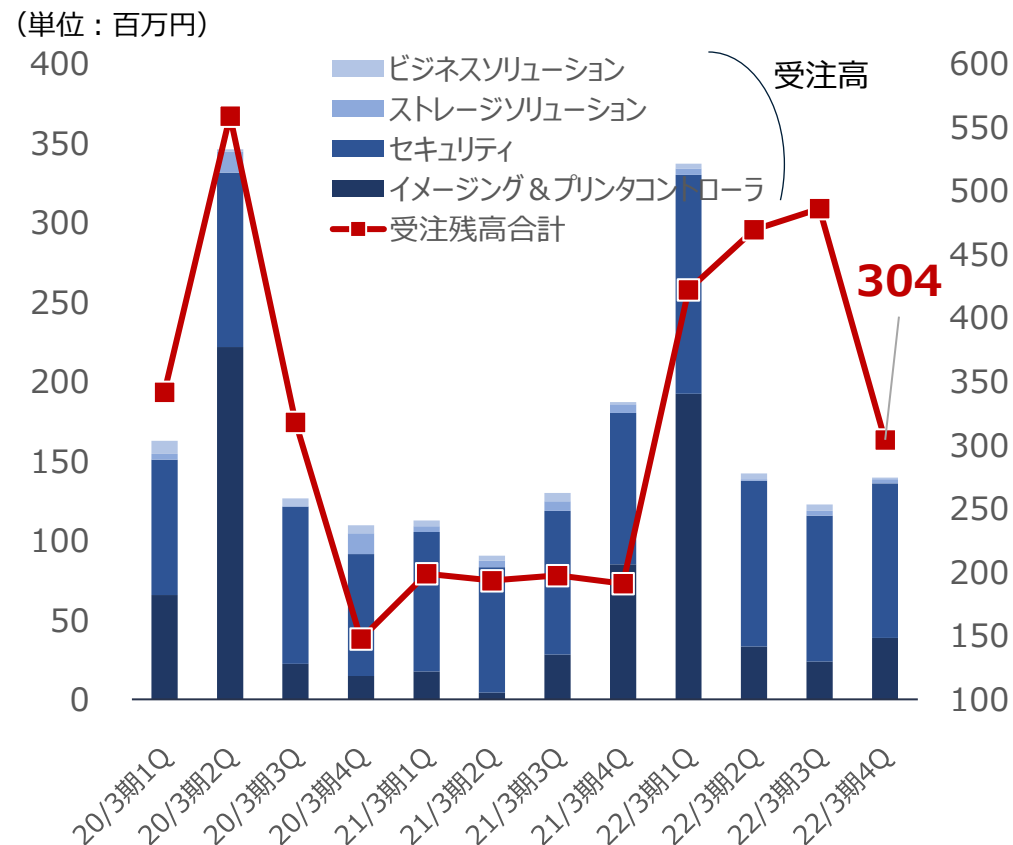
2022年3月期 総括

売上高： 前期比+31.7%の増収
一部納品の期ズレにより期
受注残高：3億円

- **イメージング&プリンタコントローラ事業**
2021年3月期（前々期）にコロナ禍により停滞していた各案件の受注活動が進展。一方で、半導体不足の影響があり、一部期中に納品が完了せず受注残となった。
- **ストレージソリューション事業**
LTOテープを用いたソリューションに多くの引合いがあるものの案件の大型化により商談が長期化。
- **セキュリティ事業**
情報、映像ともに順調。映像を中心に機能開発を強化。
 - 情報：地方自治体への導入順調。
 - 映像：空港向け入退場人数カウントシステム、国立大学医学部向けOSCE※対策システム等受注。

※ 客観的臨床能力試験（Objective Structured Clinical Examination）：診療参加型臨床実習に参加する学生に必要とされる技能態度を含めた臨床能力を評価する共用試験。

四半期毎受注高（会計期間）と受注残高



損益計算書サマリー



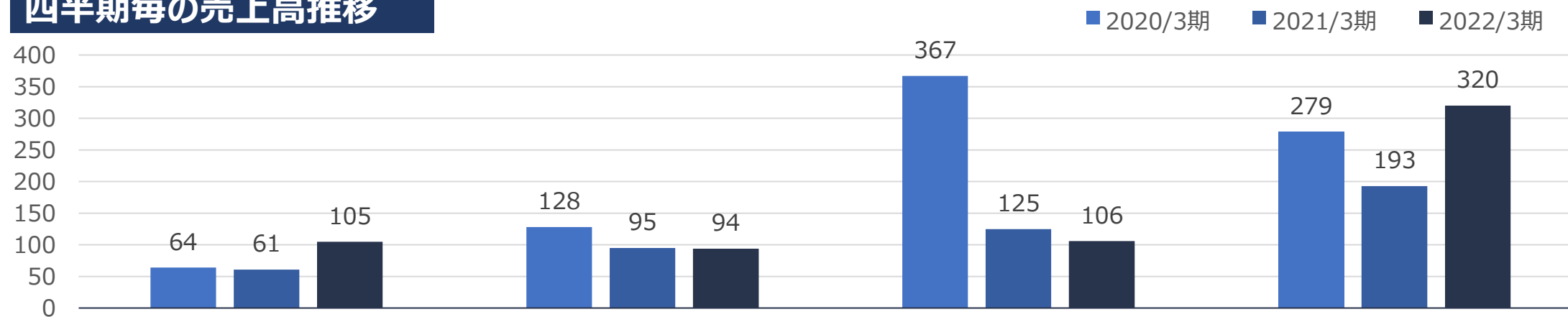
イメージング & プリントコントローラ事業の受注が進み、前期を大きく上回る増収となった。一方で、半導体不足の影響から納品時期が次期にズレ込んだものがあり、売上、利益ともに期初計画は未達。

単位：百万円

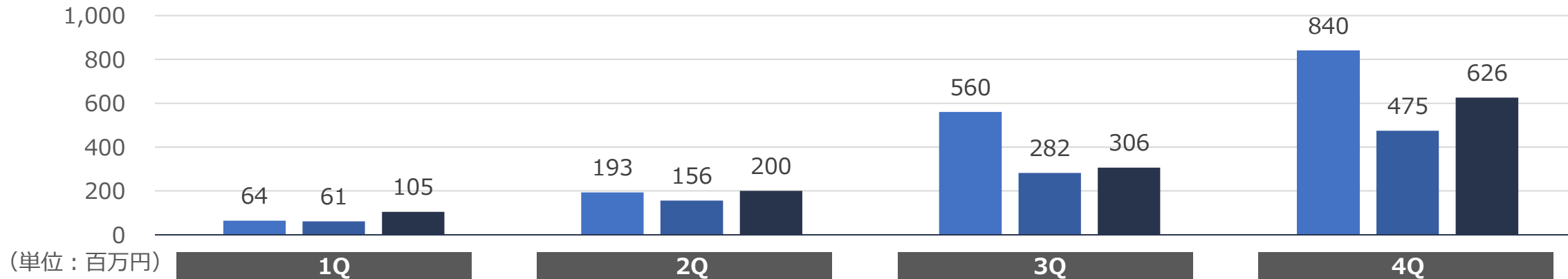
	2022/3期 実績	2021/3期 実績	前年同期比較		2022/3期 期初計画
			増減額	増減率	
売上高	626	475	+151	+31.7%	800
売上総利益	321	247	+73	+29.9%	
営業利益	19	△77	+97	-	150
経常利益	33	△54	+87	-	150
当期純利益	22	△56	+78	-	80

四半期業績推移 (売上高：過去3期比較)

四半期毎の売上高推移



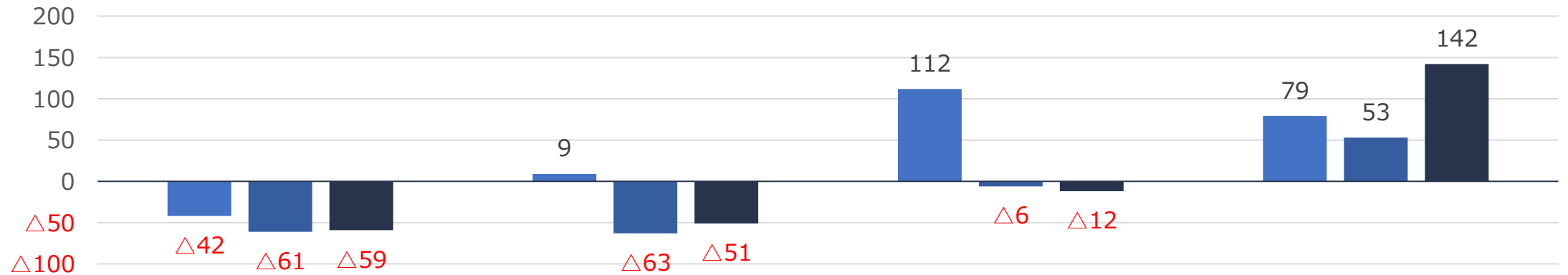
累計売上高推移



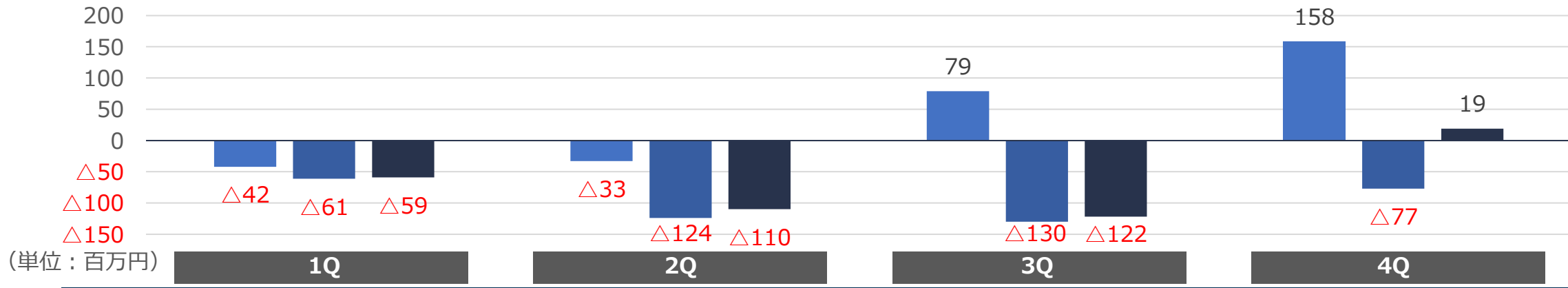
四半期業績推移 (営業利益：過去3期比較)

四半期毎の営業損益推移

■ 2020/3期 ■ 2021/3期 ■ 2022/3期



累計営業利益推移



(単位：百万円)

セグメント別情報 売上高

イメージング&プリンタコントローラ事業が回復。前期からは大幅な増収。
セキュリティ事業も好調を維持。

単位：百万円

	2022/3期		2021/3期		前年同期比較	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
イメージング&プリンタコントローラ	206	33.0%	60	12.8%	+145	+239.1%
ストレージソリューション	12	2.1%	19	4.0%	△6	△32.4%
セキュリティ	395	63.1%	382	80.4%	+12	+3.4%
ビジネスソリューション	11	1.9%	13	2.8%	△1	△10.1%

セグメント別情報 セグメント利益

セキュリティ事業を除く3セグメントは前期実績を上回る。セキュリティ事業は映像関連の機能強化のための開発投資を実行したことにより増収減益。

単位：百万円

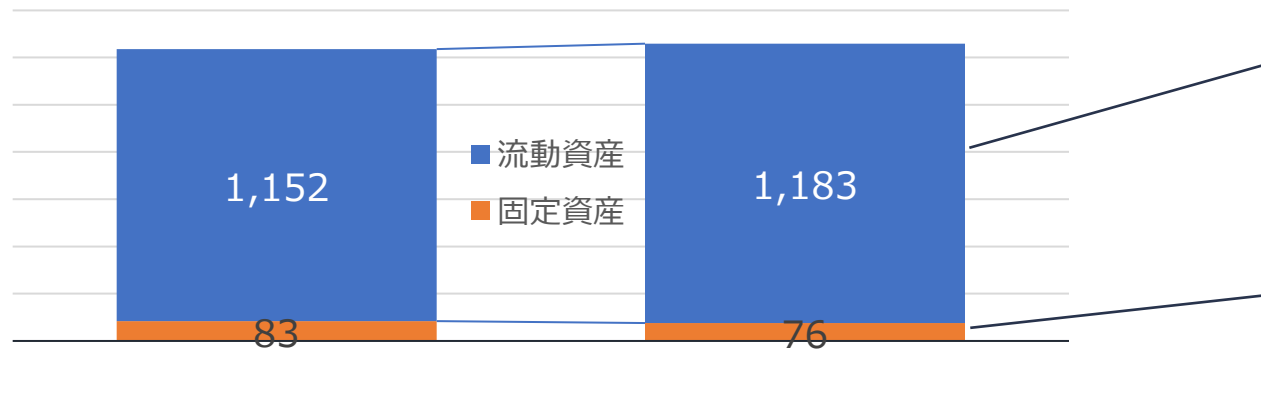
	2022/3期	2021/3期	前年同期比較	
	セグメント利益	セグメント利益	増減額	増減率
イメージング&プリンタコントローラ	75	△15	+90	—
ストレージソリューション	△ 14	△23	+8	—
セキュリティ	75	102	△27	△26.7%
ビジネスソリューション	5	1	+3	+208.2%
全社費用	△ 121	△143		

貸借対照表

21/3期末

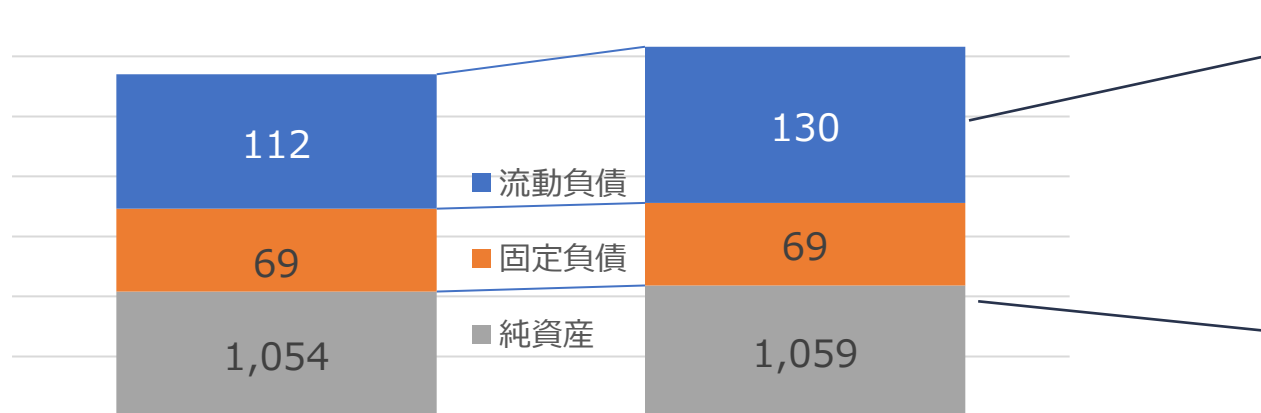
22/3期末

【主な増減要因】



現金及び預金：51百万円減少
 未収還付法人税等：39百万円減少
 短期貸付金：20百万円減少
 未収消費税等：12百万円減少
 売掛金：146百万円増加
 商品および製品：10百万円増加

工具、器具及び備品：2百万円減少
 保険積立金：1百万円減少
 ソフトウェア：1百万円減少



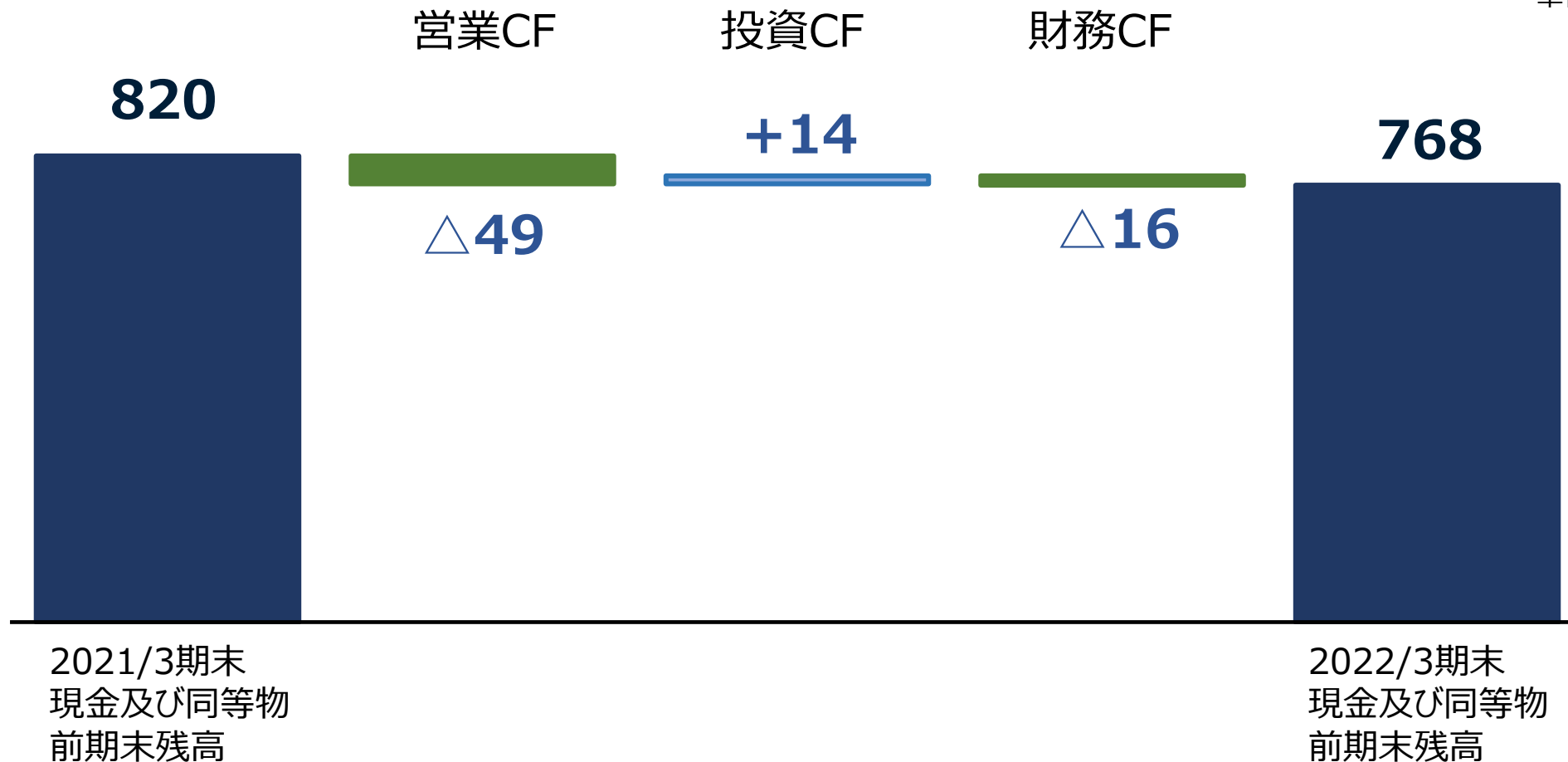
前受金：46百万円減少
 買掛金：19百万円減少
 契約負債：53百万円増加
 未払消費税等：19百万円増加
 未払法人税等：10百万円増加

利益剰余金：5百万円増加
 ▶ 配当金の支払い：16百万円
 ▶ 当期純利益計上：22百万円

単位：百万円

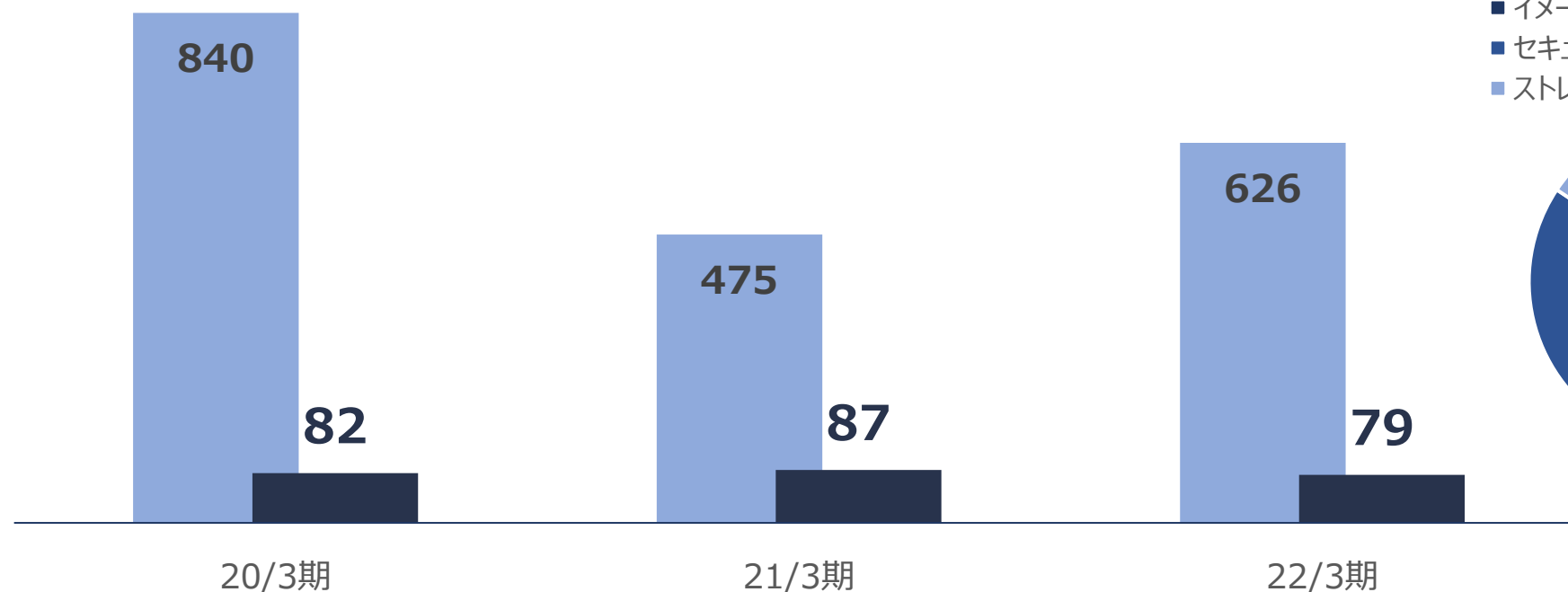
キャッシュフロー計算書

単位：百万円



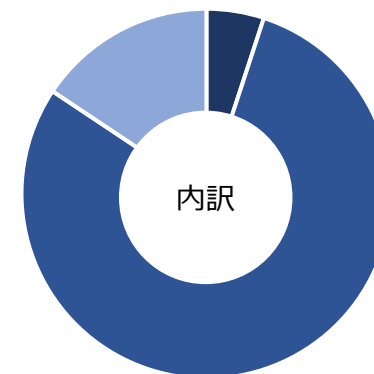
将来の収益獲得のため積極的な研究開発投資を継続

■ 売上高 ■ 研究開発費



R&Dセグメント別内訳

- イメージング & プリンタコントローラ
- セキュリティ
- ストレージ



単位：百万円



2023年3月期 事業計画



2023年3月期通期業績予想について

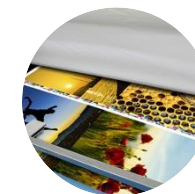
3億円を超える受注残高をもつてのスタート。大幅な増収、増益を狙う。

Point

- 各セグメントにおいて大型案件の商談が活発化。受注獲得に経営資源を投下。
- サプライチェーンの混乱は当面継続することを前提に必要部材の調達体制の見直し。
- サブスクリプション型ビジネスをスタート。

	2023/3期 予想	2022/3期 実績	前年同期比較	
			増減額	増減率
売上高	900	626	+273	+43.5%
営業利益	200	19	+180	+924.6%
経常利益	200	33	+166	+504.8%
当期期純利益	120	22	+97	+443.8%

イメージング & プリンタコントローラ事業



半導体サプライチェーンの動向を注視し着実に納品まで完結。

ニューノーマルの生活様式が浸透する中でパッケージデザイン等における多様性、短納期のニーズが拡大。高機能なインクジェットプリンタコントローラへの期待が高まっている。

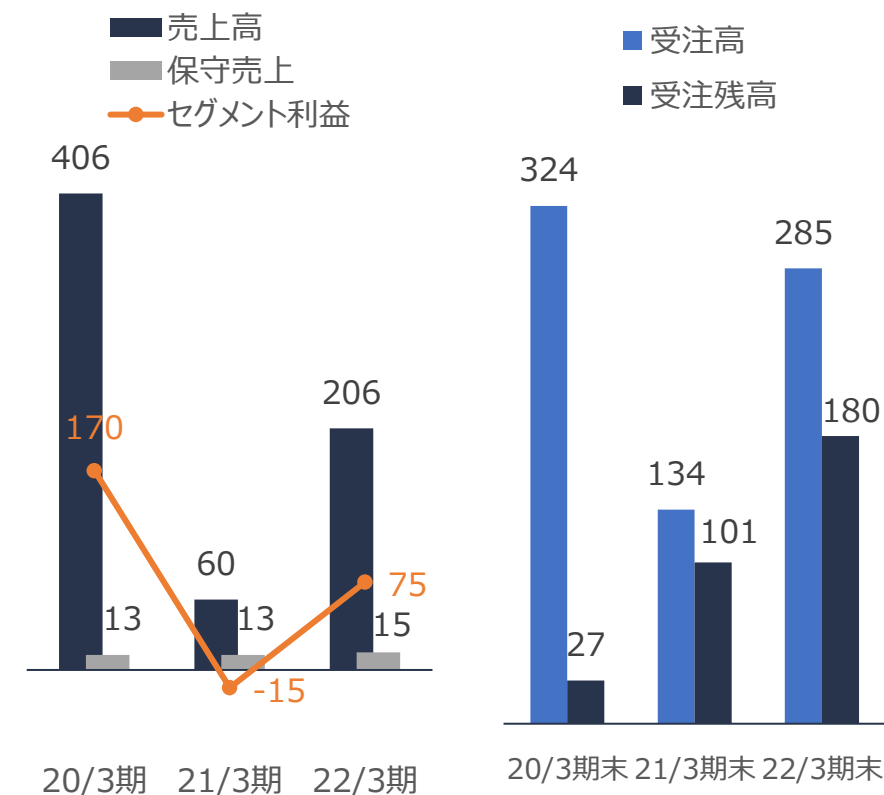
一方、受注・納品までのプロセスの長期化、半導体需給の逼迫という環境は継続を想定。

受注残高1.8億円を着実に納品完了するとともに、新規案件の獲得を推進。

コロナ前の業績水準の回復と同時に、顧客ニーズに応えるR&Dの継続により競合他社との技術差を拡大。

セグメント別業績推移

単位：百万円



ストレージソリューション事業



LTOテープを利用したソリューションに注力。 営業強化。早期黒字化を目指す。

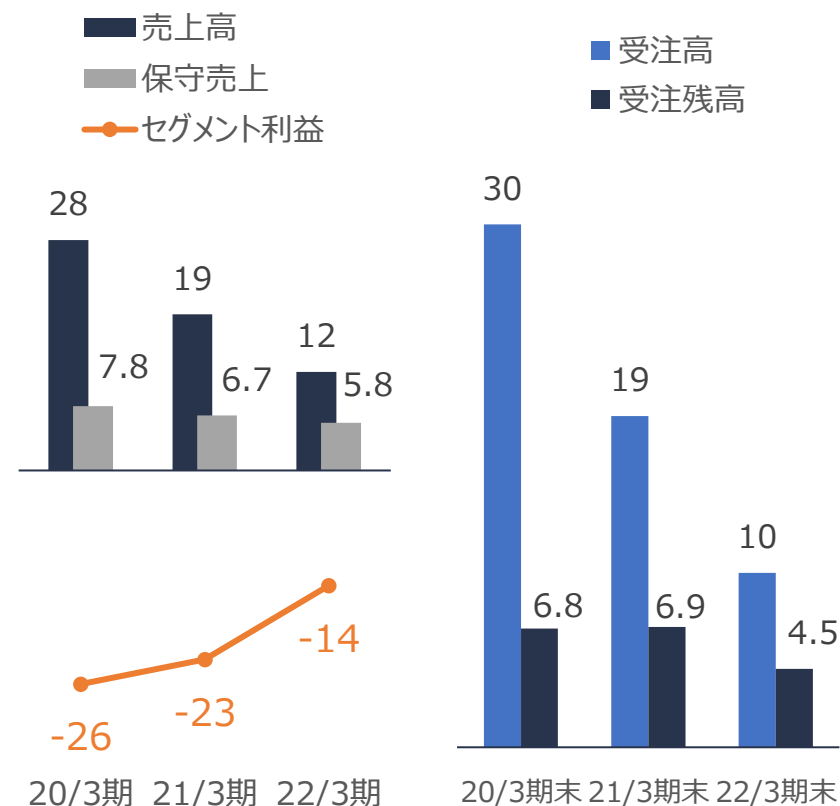
脱炭素社会の動きの一環から、省電力の観点からも、ビッグデータ保存用途として、医療現場、医療研究機関等からの引合いが増加中。顧客ニーズに合うソリューションの提供により黒字化を目指す。

LTO (Linear Tape-Open) の特長

- ▶ **長期間のデータ保存が可能**：磁気テープは30年を超える期待寿命を持ち、長期間のデータ保存に向く。
- ▶ **データ転送速度**：最新世代であるLTO-9の伝送速度は、非圧縮時において400MB/s、圧縮時で900MB/s。HDD=150MB/s程度、SATA接続のSSD=500MB/s程度
- ▶ **低コスト・省エネルギー**：HDDなどと比較するとデータの保管可能容量が大きいことに加え、メディアそのものの価格も安価。使用時に通電の必要がないため、消費電力も小さい。

セグメント別業績推移

単位：百万円





大型案件の引合いが多数。 受注残高は1.1億円

【情報】

セキュリティ面（情報管理）に加え「脱炭素」「ペーパーレス」「省電力」の観点から引合いが増加中。

地方自治体を中心に導入が進んでおり、各省庁、地方自治体へ展開を継続。

【映像】

監視カメラシステムに加え、「医学部向けOSCE試験対策用システム」「空港向け入場人数カウントシステム」が収益化のフェーズ入り。

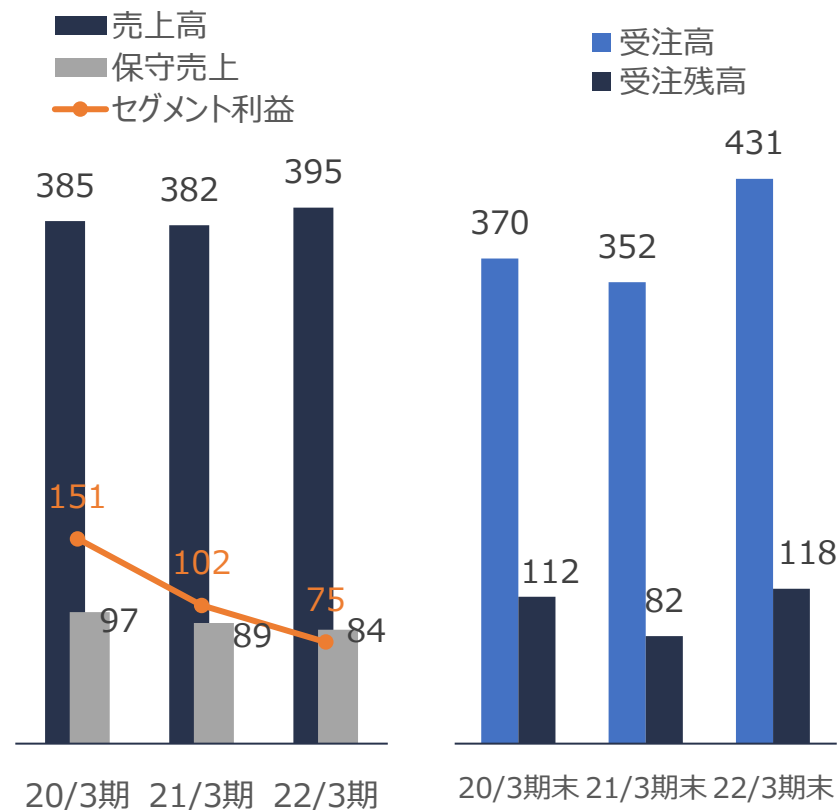
サブスク型ビジネススタート。

AIを組み込んだ監視カメラシステムなど大型案件の引合いが多数。

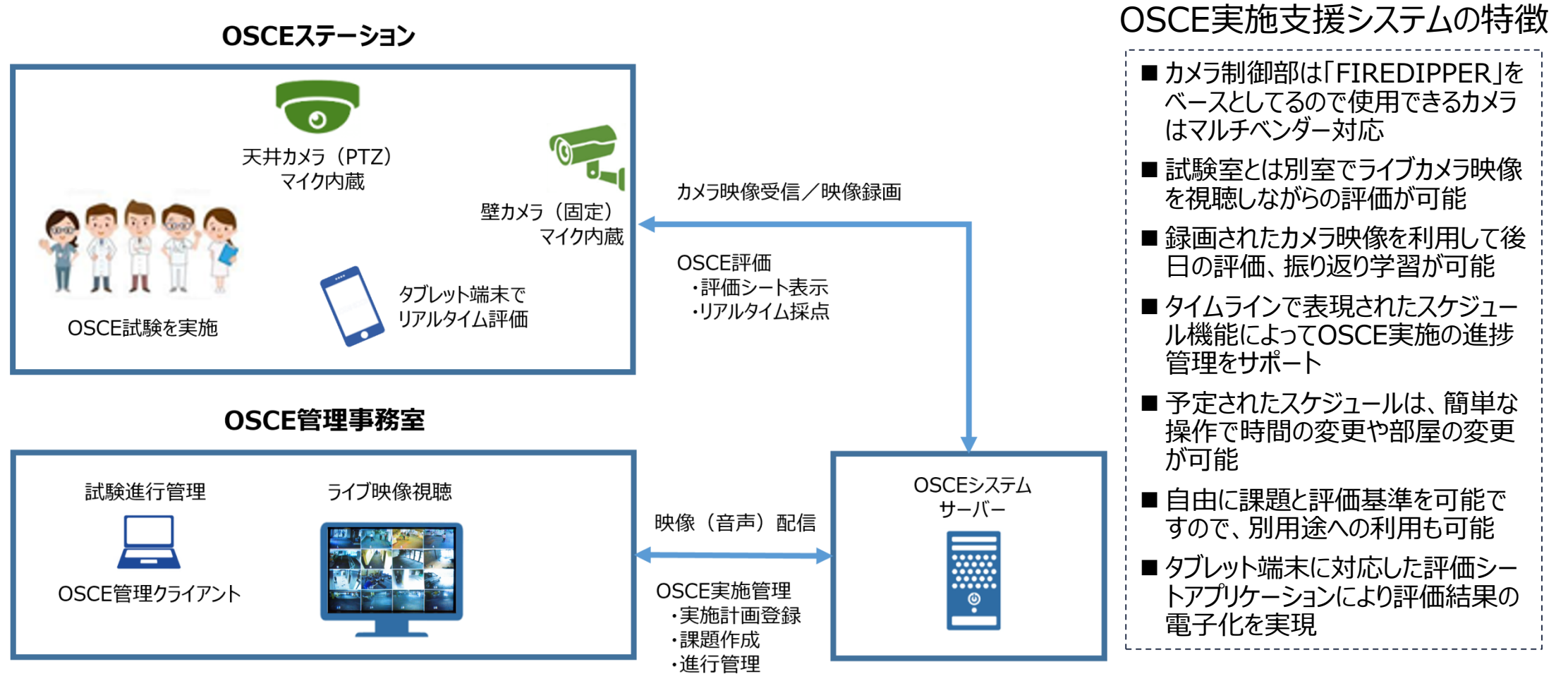
強度なセキュリティに対応するためオンプレミス型をメインに新たな製品の開発にも積極的に取り組む。

セグメント別業績推移

単位：百万円



医療教育機関向けOSCE実施支援システム



FIREDIPPER顔認証技術



■ 顔認証

カメラ映像から人物の顔を自動的に検出し、予め登録された顔認証情報と照合することで人物の特定「顔認証」を行う。

ICカードによる入退室管理システムと連携することにより、ICカード+顔認証を組み合わせることで高いセキュリティレベルを実現。

■ 人数カウント

カメラ映像内の「顔」を検出する機能により特定エリア内の人数カウントとしての利用が可能。

ここが
Point

映像に映ったものを **AIが判断**、
人と人以外を区別

車番認識・入場者情報表示システム



「正面入口」に、車両が来場しました。 発報日時：07月13日 19時48分

正面入口 車両認識カメラ 1

会社名 神奈川 株式会社
 日時 2015年07月13日 19時48分03秒
 車両番号 横浜 111 せ 2345
 入場許可 許可
 有効期限 2017年09月30日
 担当者 高橋 健太郎
 連絡先 098-7654-3210
 区分 その他

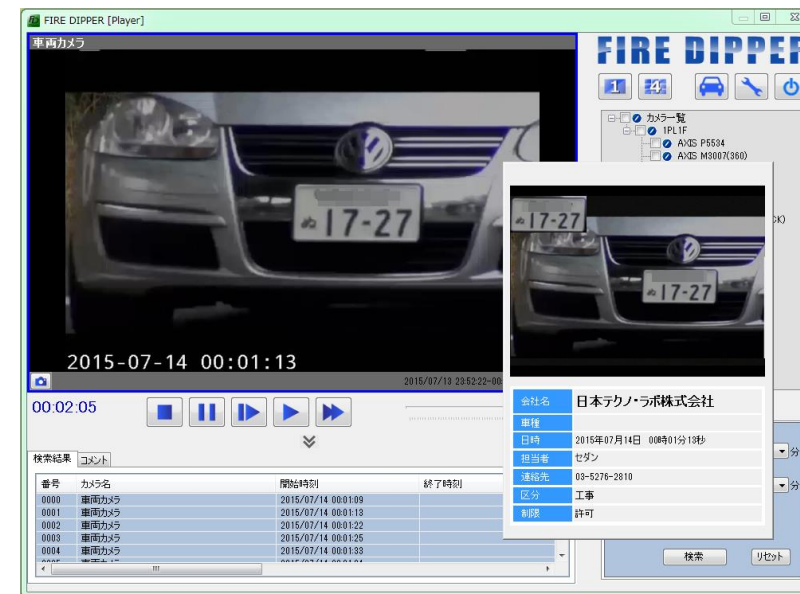
許可

日時	入場口	許可判定	会社名	陸運	分類	板名	一連	自/業
2015/07/13 19:48:03	正面入口	許可	神奈川 株式会社	横浜	せ			
2015/07/13 19:47:53	正面入口	不明	八戸	す			自	
2015/07/13 19:47:53	正面入口	不明	品川	ゆ			自	
2015/07/13 19:47:37	正面入口	不許可	日本テクノラボ株式会社	岐阜	つ			
2015/07/13 19:47:29	正面入口	不許可	日本 株式会社	習志野	た			
2015/07/13 19:47:21	正面入口	不許可	日本テクノラボ株式会社	多摩	ね			
2015/07/13 19:47:06	正面入口	許可	東京 株式会社	品川	せ			
2015/07/13 19:46:43	正面入口	不明		佐世保	ま		自	
2015/07/13 19:46:41	正面入口	不許可	日本テクノラボ	品川	な			
2015/07/13 19:46:36	正面入口	不許可	日本テクノラボ株式会社	品川	た			
2015/07/13 19:46:24	正面入口	許可	日本テクノラボ株式会社	品川	き			
2015/07/13 19:46:19	正面入口	不許可	日本テクノラボ株式会社	品川	も			
2015/07/13 19:45:43	正面入口	許可	日本テクノラボ株式会社	品川	い			
2015/07/13 19:45:32	正面入口	不許可	日本テクノラボ株式会社	足立	あ			

カメラ表示
履歴検索
車両登録
設定
音停止

本日 07月13日(月) 19時48分
 来場数 6,888台
 許可 2,451台
 不許可 2,357台
 期限切れ 0台

登録 検索



FIRE DIPPER [Player]

車両カメラ

2015-07-14 00:01:13

00:02:05

検索結果 コメント

番号	カメラ名	開始時刻	終了時刻
0000	車両カメラ	2015/07/14 00:01:09	
0001	車両カメラ	2015/07/14 00:01:13	
0002	車両カメラ	2015/07/14 00:01:22	
0003	車両カメラ	2015/07/14 00:01:25	
0004	車両カメラ	2015/07/14 00:01:33	

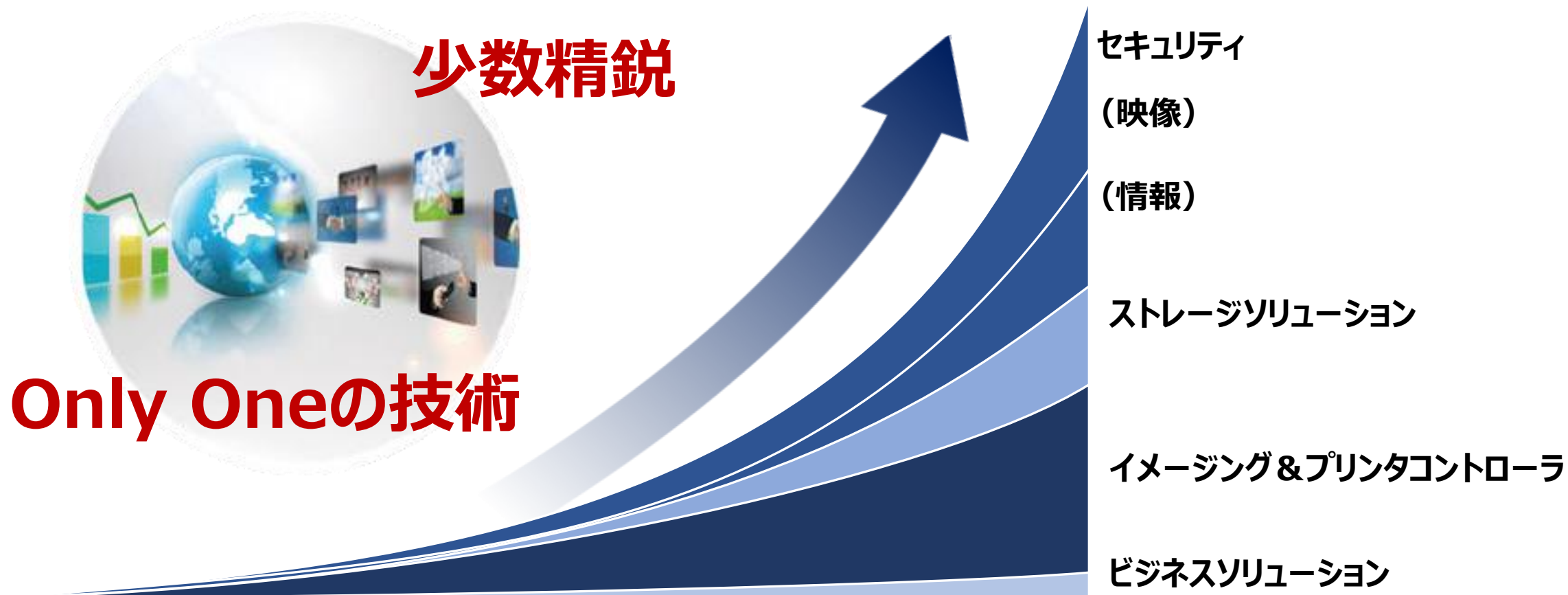
会社名 日本テクノラボ株式会社
 車種 セダン
 日時 2015年07月14日 00時01分13秒
 担当者 セダン
 連絡先 03-5276-2810
 区分 工事
 制隊 許可

検索 リセット

- 車両ナンバー認識装置と入場ゲートに設置された監視カメラを組み合わせ、車両のナンバープレートを認識して入場車両（入場者）情報を表示。
- 登録車両情報に、予め入場許可・不許可の設定をすることで、入場ゲート開閉の自動的制御が可能。
- 入場車両イベントとして録画データと紐づくことで、入場ゲートの監視カメラ録画映像と共に入場車両履歴の確認が可能。

中期成長イメージ

高度で付加価値の高いソフトウェア開発でサステナブル社会の実現に貢献します。






会社概要



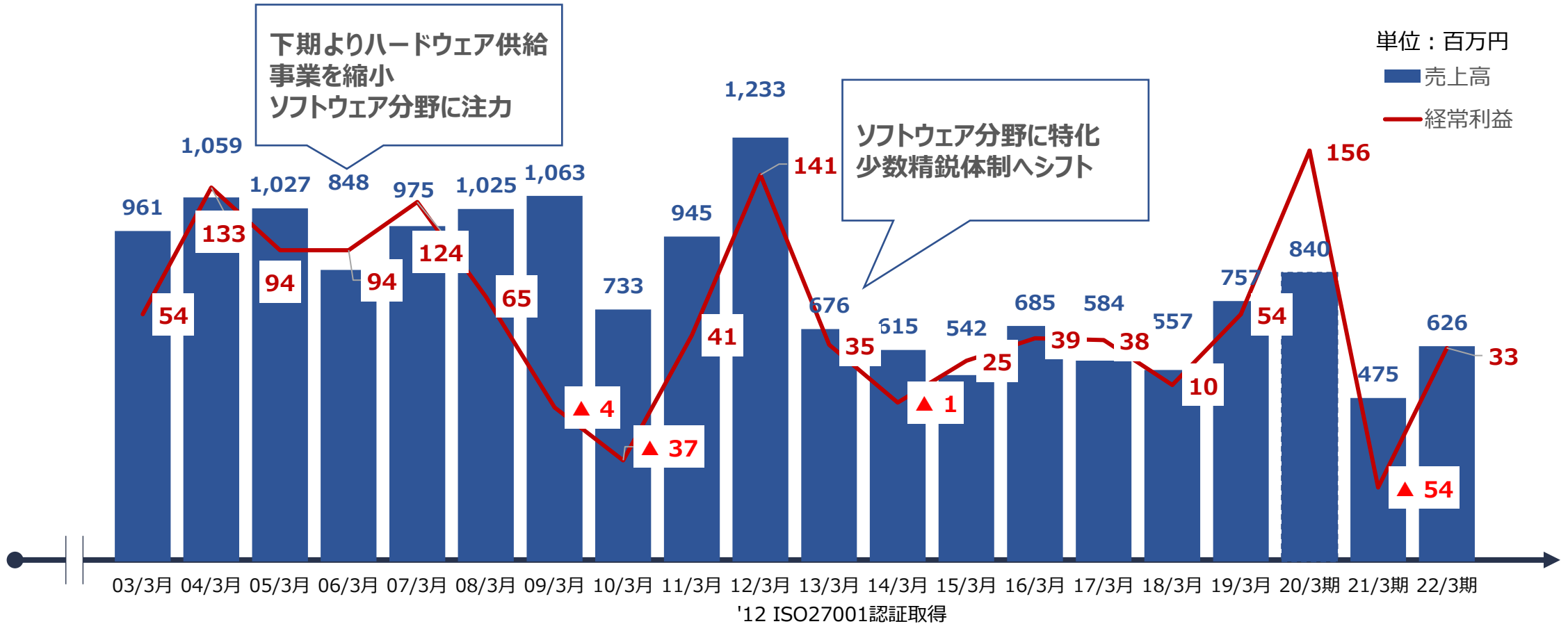
会社概要

2022年3月末現在



社名	日本テクノ・ラボ株式会社 (NIPPON TECHNO LAB INC.)	
本社所在地	〒220-6211 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-5 クイーンズタワーC棟11階	
創業	1989年	
事業内容	コンピュータシステム開発	
資本金	4億3,620万円	
社員数	30名	
役員	代表取締役社長：松村 泳成 取締役：松村 泳勲 取締役：近藤 敏博 取締役：川辺 基行 取締役：小長谷 岳人 取締役：鈴木 孝男 取締役：島田 三郎	 <p>代表取締役社長 松村 泳成</p> <p>略歴 1984年：日本マサチューセッツ・コンピューター（株） 取締役営業部長 1989年：当社設立 代表取締役社長就任（現在に至る）</p>

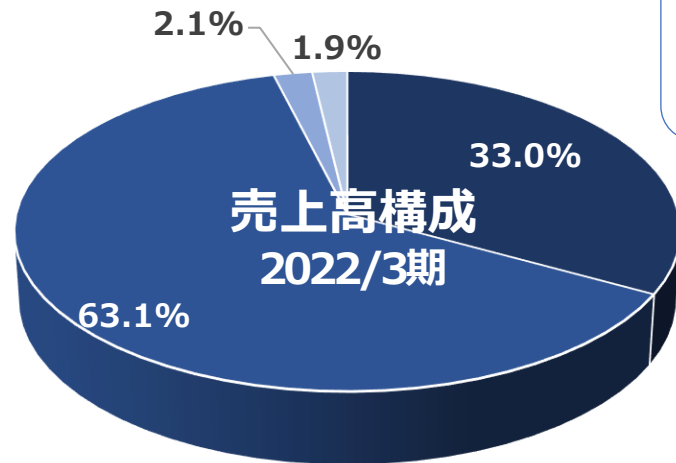
沿革と業績推移



'07 札幌証券取引所アンビシャス市場に上場

'89 設立：東京都品川区東五反田にて営業開始

事業領域：セグメント



- イメージング
- セキュリティ
- ストレージ
- ビジネス



顧客ニーズに応じた特殊なソフトウェアの受託開発、販売および保守

ビジネスソリューション事業

世界Only One
産業用インクジェット・プリンタ用制御ソフトウェア、広巾長尺プロッタ用制御ソフトウェア、ポストスクリプト・ラスライザの開発、販売及び保守

イメージング & プリンター コントローラ事業



ストレージソリューション事業

セキュリティ事業



可搬型記憶媒体システムの開発、販売、保守

世界Only One

セキュリティプリントシステムおよび統合監視映像システムの開発、販売、保守

世界Only One





SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「日本テクノ・ラボ株式会社は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています」



本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。又、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

又、業績等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

<https://www.ntl.co.jp/>

